

質問	リセドロン酸ナトリウム錠 17.5mg の簡易懸濁法での投与は可能ですか？
回答	<p>リセドロン酸ナトリウム錠 17.5mg は 55℃の温湯で 10 分以内に崩壊・懸濁し、8Fr.のチューブを通過しています。</p> <p>詳しくは添付のデータをご覧ください。</p> <p>また、懸濁液の 10 分後のリセドロン酸ナトリウムの残存率は 99.2%でした。</p> <p>なお、この資料は本剤の懸濁状態及びチューブ通過性を検討した資料であり、臨床で経管投与した場合の有効性・安全性の評価は行っておりません。</p> <p>本剤をご使用の際には添付文書をご確認の上、医療従事者の裁量と判断のもとに行っていただきますようお願い致します。</p> <p>[添付文書の記載（一部抜粋）]</p> <ul style="list-style-type: none">● 禁忌（次の患者には投与しないこと） <p>(4)服用時に立位あるいは坐位を 30 分以上保てない患者</p> <p><用法及び用量に関連する使用上の注意></p> <p>(2)食道炎や食道潰瘍が報告されているので、立位あるいは坐位で、十分量（約 180mL）の水とともに服用し、服用後 30 分は横たわらない。</p> <p>(3)就寝時又は起床前に服用しない。</p> <p>(4)口腔咽頭刺激の可能性があるので嚙まずに、なめずに服用する。</p>
参考資料	【リセドロン酸ナトリウム錠 17.5mg「ケミファ」】 簡易懸濁法に関する資料